



(公社)鹿児島県診療放射線技師会

会報

平成31年2月

第129号



公益社団法人 **鹿児島県診療放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11
TEL 099-248-0028
FAX 099-248-0028

巻 頭 言

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
会長 太田原 美郎



いよいよ平成31年が始まりました。30年親しんだこの「平成」も今年の4月までとなりました。次の元号は何となるのでしょうか。「安始」「安久」など、世間では「安心」や「安らかさ」を願う元号になるのではなどと噂されているようですが、やはり国の未来のあり様を願う元号になることでしょう。

さて、私たち診療放射線技師の未来を考えてみましょう。国は必ずやってくる超高齢化社会に向け様々な施策を実施しています。病院の診療機能を高度急性期から慢性期の4期に区分し、病床機能の必要量の見直しと、よりふさわしいサービスを受けられる体制づくりを目指す地域医療構築を行っています。このことは、急性期病院は減少し回復期・慢性期病院が増加するということを意味しており、結果的にCTやMRIなどの高度医療機器の需要が減り、診療放射線技師の定員数も減る可能性に繋がります。また、2016年に政府は、「人工知能技術戦略会議」を設け、人工知能技術の進展予測とともに「次世代人工知能技術社会実装ビジョン」を公表しました。これによるとAIやロボットの活用により、医療・福祉の分野を含め大きな雇用シフトを伴う産業構造の変革がもたらされるとし、私たち診療放射線技師の業務縮小や人員の削減は免れないものとなることが予想されています。

このような社会情勢において、われわれ診療放射線技師が生き残っていくためにはどうすれば良いのか。今後の社会において必要とされる職業は、「人間にしかできない価値」を生み出すものだと言われています。したがって私たち診療放射線技師が今後社会で生き残り活躍していくためには、このことを踏まえた業務範囲の拡大を進めていくことに他なりません。看護協会では厚生労働省の指導のもと2025年に向け、医師又は歯科医師の判断を待たずに一定の診療の補助を行う看護師を養成する「特定行為研修」を実施しております。この「特定行為」においては、当初一般撮影・CT・MRIの検査の指示、画像の評価も含めて欲しいとの意見があったそうです。また、皆さまもご存知の通り、平成29年1月の第193回国会においては、「柔道整復師法の一部を改正する法律案」（この法案は柔道整復師が脱臼又は骨折が疑われる者に対するX線撮影が行えるようにするというもの）の提出がなされました。このように、どの職種においても生き残りをかけ活躍の場を求めて業務拡大に必死になっているわけです。われわれ診療放射線技師ももっと現状を直視し、危機感をもって活動していくべきではないでしょうか。

「業務拡大の伴う統一講習会」ですが、未だ受講率41.3%と低迷しており、臨床検査技師の60.2%に比べ大きく出遅れています。このようなあり様で診療放射線技師の業務拡大が成し得るのでしょうか。日本診療放射線技師会は会員数わずか30,000人ほどの小さな団体であります。だからこそ皆が一致団結しなければ診療放射線技師の10年先、20年先に明るい未来はないということを自覚していただきたいのです。診療放射線技師の価値が社会に認められ業務範囲の拡大を実現していくためには、自分たちに何が求められているのか、そして何ができるのかを見極め、他団体に遅れをとることなく行動していく必要があります。私たち診療放射線技師の役割や地位を確固たるものにしていくためには、立法化を進めることが必須となります。そのためにも法案を立案する国会に対して、他団体の負けない影響力を高めることが必要です。何もせず待っているだけでは何も解決しません。私たち、そしてこれから夢をもって診療放射線技師となり未来を築いていく後進のためにも、このことを自覚して鹿児島県診療放射線技師会ならびに日本診療放射線技師会の活動に積極的なご支援とご協力をお願いいたします。

会 告

第38回 南薩地域研修会案内

鹿児島県診療放射線技師会 南薩地域理事
野中 康博

【日 程】

- ◆開催日：平成31年02月23日（土）
- ◆時 間：15時～18時
- ◆会 場：サザン ケア センター（枕崎市＝サザンリージョン病院隣接の介護老健施設）

【演 題】

- ①会員発表 2題
 - ・徳久整形外科、南州メディカルより発表予定です。
- ②特別講演 1題
 - ・特定看護師より資格取得、業務内容、体験談、今後の展開など講演頂く予定です。
- ③メーカー講演 2題
 - ・GE「Dual Energy CTの最新情報」（仮題）
 - ・コニカミノルタ「義務化を見据えた線量測定管理、記録について」（仮題）

【参加費】

- ・会員、学生、メーカーは無料。
- ・非会員の放射線技師については参加費2,000円徴収いたします。

【懇親会】

- ・研修会会場から近い場所で3,000円～4,000円の会費制で行います。
- ・人数把握のため事前に出欠を取ります。
- ・勤務都合により、懇親会のみ参加でも構いません。

【問い合わせ】

- ・地 域 理 事 野中 康博（菊野病院） 0993-56-1135
- ・学術担当世話人 長野 勝悟（馬場病院） 099-296-2611
- ・学術担当世話人 川西 義浩（南州メディカル） 099-272-0567

※詳細が決まりましたら二回目の案内として県技師会ホームページに掲載いたします。（南薩地域には文書でも発送します）

平成30年12月吉日
公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原美郎

会 告

第15回 鹿児島県医療情報システム研究会 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 合同開催

鹿児島県医療情報システム研究会
島児 末治

第15回鹿児島県医療情報システム研究会と鹿児島県医療画像情報精度管理士部会を下記の通り
合同で開催いたします。ご多忙中とは存じますが、積極的なご参加をお待ちしております。

— 記 —

日 時 2019年2月16日(土) 14:30 ~ 17:40
会 場 鹿児島市立病院 多目的ホール 鹿児島県鹿児島市上荒田町37-1
参加費 日本診療放射線技師会員・学生・メーカー：無料 非会員：2000円

プログラム

- ① 開会挨拶 代表世話人 太田原 美郎
- ② 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会活動報告 部会長 島児 末治
- ③ 医用画像運用施設報告 14:40 ~ 14:50
「PACSクラウドの現状と問題点 ~クラウド導入4年を迎えて~」
今給黎総合病院 中央放射線部 池田 真一
- ④ 話題提供 14:50 ~ 16:10
「既読管理について」
株式会社ジェイマックシステム 営業部 営業推進グループ 石塚 勝樹
「被ばく線量管理システムについて」
EIZO株式会社 ITソリューション部 基盤システムソリューション課 加島 陽
- ⑤ 「検査予約地域医療連携システムについて」16:25 ~ 17:40(各20分)
「C@RNA Connect」 富士フィルム メディカル株式会社
九州ITソリューションセンター 大平 進也
「infomity 連携BOX」 コニカミノルタ ジャパン(株)
九州支店 営業推進グループ 村上 修一
「施設運用紹介」各10分程度
霧島市立医療センター(坂口 右己) 国立病院機構指宿医療センター(白木 利明)
- ⑥ 閉会挨拶
※ ミニ展示(ジェイマックシステム・EIZO・富士・コニカ株式会社) 14:00 ~ 18:00

当研究会の付加ポイント予定申請一覧

※医療画像情報精度管理士更新カウント

※医療情報技師ポイント 1ポイント

※医用画像情報専門技師ポイント 1ポイント

※日本診療放射線技師会学術研修カウント 3ポイント

申請中のポイントは確定次第、以下にて公開します <https://www.facebook.com/kagoshima.medicalsystem>

主催：鹿児島県医療情報システム研究会

共催：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

後援予定：日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構 日本医用画像管理学会 医療情報技師育成部会

問合せ先：島児 末治 0994-32-5211(内線125) 垂水中央病院 放射線室

第43回 大隅地域研修会

鹿児島県放射線技師会 大隅地域理事
島見 末治

日時 2018年8月4日(土) 時間 14時30分～17時30分
会場 大隅鹿屋病院 別館2階講堂

【 開会の挨拶 】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会大隅地域理事 島見 末治

【 県技師会活動報告 】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会会長 太田原 美郎

【 会員報告 】 14:40～15:10

1. 第42回大隅地域研修会アンケート結果報告 学術世話人 吉福 淳
2. 「統一講習会受講後の当院での業務の変化について」 昭南病院 相川 晃太
3. 施設紹介 鹿屋医療センター 内村 亮介

【 ITEM2018 最新情報 】 15:10～15:30

1. 「富士フィルム最新情報の紹介」 九州 IT ソリューションセンター 大平 進也氏
2. 「AI 技術搭載 CT 装置紹介」 シーメンスヘルスケア株式会社 内田 雄己氏

【 座学 】 15:40 ～16:10

「 進化する AI 技術に生き残れる診療放射線技師とは 」
(株)日立製作所 ソリューションビジネス本部 診断支援ソリューション部 井上 敦詞氏

【 フレッシュアップ 】 16:10～16:40

「 放射線業務に必要な感染対策とは 」
社会医療法人鹿児島愛心会 大隅鹿屋病院 感染管理認定看護師 仮重 喜代美先生

【 テーマ討論 】 16:50～17:30 座長 大隅鹿屋病院 永山 崇臣

「 世界最小カプセル型リードレス MRI 対応ペースメーカーについて 」
～ こんなに小さいの？ リードがない？ 確認方法は？ ～

メリット・デメリット

1. メーカー : 日本メドトロニック株式会社 CRHF 事業部 営業部 天野 晃一氏
2. 施設報告 : 大隅鹿屋病院 寒水 諒

【 閉会の挨拶 】 大隅地域世話人 山本 秀明

第 43 回大隅地域研修会報告

大隅地域世話人 深水 武

8月4日大隅地域研修会を大隅鹿屋病院・別館2階講堂で開催し35名(会員22名・非会員2名他職種1名、メーカー10名)の参加があった。

会員報告は、3演題、鹿屋医療センターの吉福淳技師が前回研修会アンケート結果報告、昭南病院の相川晃太技師が統一講習会受講後の当院での業務の変化について、鹿屋医療センターの内村亮介技師が施設紹介を行った。

トピックスとして、ITEM2018の最新情報として「富士フイルム最新情報の紹介」、シーメンス社の「AI技術搭載CT装置の紹介」をおこなってもらった。

次に日立製作所の井上敦詞氏に進化する「AI技術に生き残れる診療放射線技師とは」、という演題で講演をしていただき、フレッシュャーズとして、大隅鹿屋病院・感染管理認定看護師、仮重喜代美看護師長に「放射線業務に必要な感染対策とは」の演題で講演していただいた。感染対策で大切なことは、手洗い、消毒が大切なことは知っていたが、消毒をするタイミングの重要性を、新人技師はもちろんだが、中堅、ベテランの技師も再確認できたようだ。

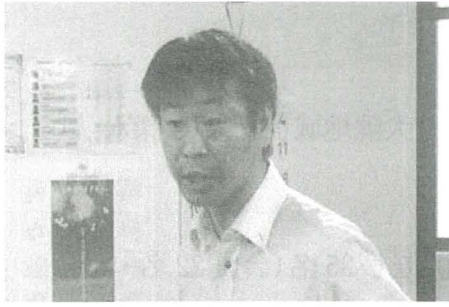
テーマ討論では、日本メドトロニック社の天野晃一氏にカプセル型リードレスMRI対応ペースメーカーの仕様について講演していただき、その後、大隅鹿屋病院の寒水諒技師に施設報告として、発表してもらいテーマ討論を行った。メドトロニック社には、実際のデバイスも展示していただき、実物を手にしながら、確認方法などが討論に上がり、寒水技師が自院での胸部写真での確認方法を紹介した。

最後に、前回議題にも上がった統一講習会を大隅で開催していただけることになり多くの会員が受講出来ると思います。地域の受講率アップが県技師会の受講率アップにつながると思うので、地域開催を提案したいと思います。更に技師会連盟活動については、啓蒙活動を密に行い技師会加入率をアップしたいと考えています。

今後も会員のスキルアップ向上を目指した研修会を企画したいと考えますので皆様のご協力を宜しく願いたします。

【 2018・2019年度 大隅地域理事・世話人 】

地域理事	:	島児 末治	垂水市立医療センター垂水中央病院
総務	:	深水 武	大隅鹿屋病院
学術	:	吉福 淳	県民健康プラザ鹿屋医療センター
学術	:	永山 崇臣	大隅鹿屋病院
学術	:	熊谷 繁夫	昭南病院
学術	:	市園 淳二	垂水市立医療センター垂水中央病院
広報編集	:	石原 剛	池田病院
福利厚生	:	山本 秀明	おぐら病院
組織表彰	:	前東 純一郎	県民健康プラザ鹿屋医療センター



藤崎理事



島兒地域理事



吉福技師



相川技師



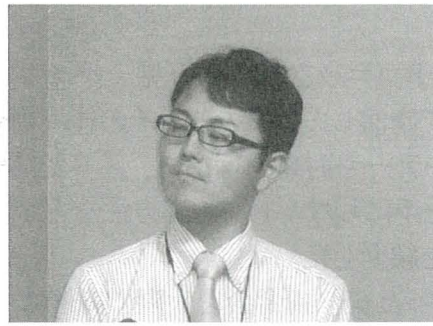
内村技師



大平氏



内田氏



井上氏



仮重先生



天野氏



寒水技師



機器展示



会場風景

第43回大隅地区研修会に関するアンケート調査結果

開催日 2018年8月4日 アンケート結果報告者 吉福 淳
放射線技師出席 24名 アンケート回収 17 回収率 71%

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	未記入	計
人数	3	3	4	7	0	0	17

1. 今回の研修会で満足された企画

	大変満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	評価できない	未記入	計
①会員報告	5	9	3	0	0	0	0	17
②ITEM	5	9	3	0	0	0	0	17
③座学	6	8	3	0	0	0	0	17
④フレッシュャーズセミナー	11	3	2	0	0	0	1	17
⑤テーマ討論	9	5	3	0	0	0	0	17

コメント： なし

2. 研修会で希望するテーマ

検査(64回答)

	検査方法	画像処理	読影関係	機器管理
CT(21回答)	38%	34%	28%	0%
MRI(22回答)	50%	23%	27%	0%
一般撮影(8回答)	63%	0%	37%	0%
透視検査(6回答)	51%	25%	34%	0%
超音波(7回答)	57%	14%	29%	0%

管理(13回答)

医用画像	放射線技師管理	感染管理	医療安全	物品管理
30%	54%	8%	8%	0%

～技師会活動関係～

3. 鹿児島市内主催の研究会等への参加について

	参加している	参加していない
人数	9	8

理由：市内在住<50代男性>

4. 県技師会主催のイベント等、Web会議システムでの大隅地域開催について

	必要だと思う	必要だと思わない
人数	15	2

理由：気軽に参加できるようになる<30代男性>

5. 技師の業務拡大に伴う統一講習会の大隅地域開催予定について

	参加したい	参加できない	受講済
人数	12	0	5

6. 研修会、技師会に対してのご意見・ご要望

・実技的な事を増やしてほしい<20代男性>

第37回 南薩地域研修会終了報告

南薩地域理事
野中 康博

1. 開催日程

- ◆開催日：平成30年09月29日（土）
- ◆時 間：15時～18時
- ◆会 場：県立薩南病院 2F 大会議室

2. 内 容

【会員発表】

- ①『クモ膜下出血に対するコイル塞栓術～1つの症例とともに』
加世田病院 木佐貫克朗 技師
- ②『腰椎立位X線撮影についての検討』
徳久整形外科 松野下直美 技師

【施設紹介】

- ①菊野病院～MRIを更新しました～ 野中 康博 技師
- ②馬場病院～歴史を勉強しましょう～ 長野 勝悟 技師

【メーカー講演】

- ①『海綿骨構造指標ソフトウェアTBS iNsightについて』
東洋メディック 東 義昭 様
- ②『基礎から学ぶMRIのアーチファクト対策』
キヤノンメディカル 深見智聡 様

【懇親会】

※18時30分から研修会会場近くの村田旅館(南さつま市)で台風接近により中止。

3. 出席者

※別紙に示す。

4. 写真

※別紙に示す。

5. 総 括

大型で勢力の強い台風24号接近により危ぶまれましたが、研修会は予定通り開催されました。会員発表では一つの症例から読影力とチーム医療・連携の再認識した加世田病院の発表、立位撮影の意義をアンケート結果をもとに検討した徳久整形外科の発表、共に貴重なものでした。原田学園の学生も参加し、骨粗鬆症やMRIについてのメーカー講演は良い機会となりました。

尚、14名参加予定であった懇親会は台風接近による危険回避のため、前日に中止判断を余儀なくされ、貴重な情報交歓会機会を失いました。

【出席者】

J A R T 会 員

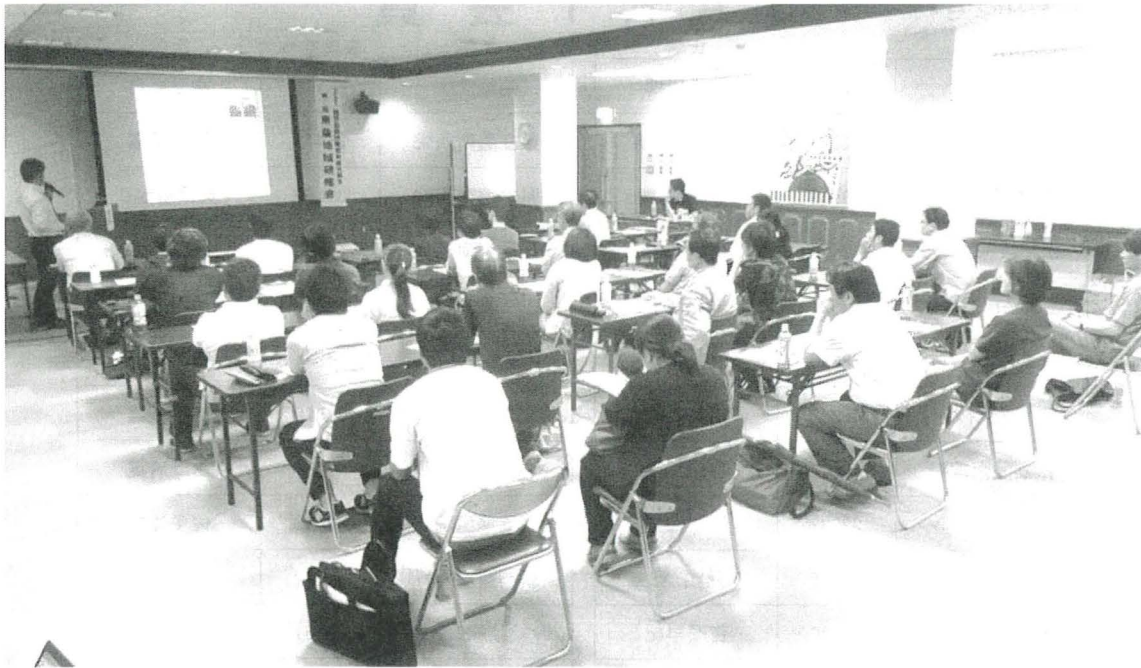
所属	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名
菊野病院	35101	野中康博	菊野病院	63197	當房卓也
加世田病院	42039	木佐貫克朗	県立薩南病院	26472	餅原信広
県立薩南病院	38969	渡 幸二郎	県立薩南病院	31052	久保ゆかり
松岡救急クリニック	47129	山崎慎治	馬場病院	(申請中)	長野翔太
鹿児島市立病院	32321	岩元博史	有馬病院	68883	池田健太
徳久整形外科	26393	松野下直美	久木田整形外科病院	24831	園田実郎
南州メディカル	33998	川西義浩	唐仁原内科クリニック	32928	江平俊雄
県立薩南病院	58547	荒田恭平	立神リハ温泉病院	43951	白澤清英
県立薩南病院	29832	榮村仁史	馬場病院	43950	佐多洋二
川辺生協病院	28815	藤橋 弘	新門整形外科	47772	東條昌樹
サザンリージョン病院	59690	吉崎早紀	今給黎総合病院	45831	丸尾美由紀
馬場病院	28818	長野勝悟	指宿浩然会病院	45030	國生岳志
サザンリージョン病院	56290	洲上裕基	※上記一覧は当日の受付名簿順に掲載しています。		
サザンリージョン病院	29836	前迫秀利			
小原病院	68630	潮 美邑			

非 会 員

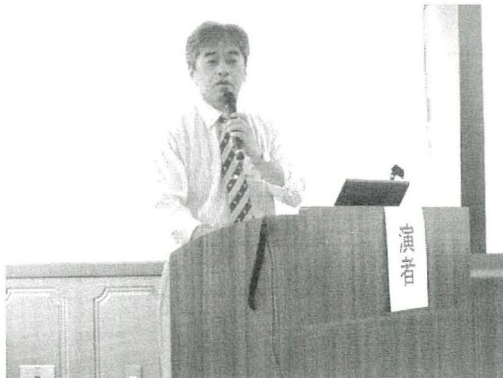
所属	職業等	氏名
有馬病院	診療放射線技師	番匠志尚
馬場病院	診療放射線技師	橋本宏幸
※上記2名からは参加費2,000円を徴収しています。		
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	豊倉妃那
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	大 蘭 建
※上記2名(学生)からの参加費は徴収していません。		
東洋メディック	メーカー	東 義昭
九州放射線	メーカー	宮 蘭 博
富士フィルムメディカル	メーカー	松下靖彦
キヤノンメディカル	メーカー	室町昌吾
キヤノンメディカル	メーカー	深見智聡
コニカミノルタ	メーカー	田中浩二
※上記6名(メーカー)からの参加費は徴収していません。		

【写真】

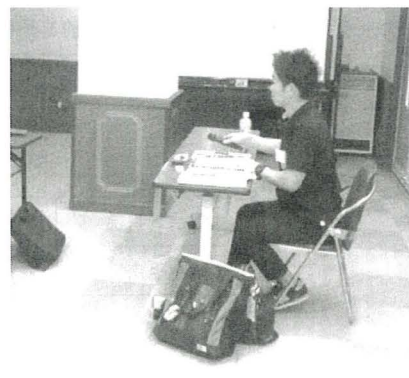
↓会場の県立薩南病院



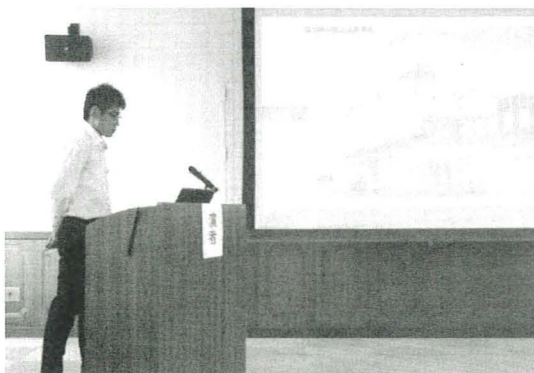
↓野中副会長あいさつ



↓進行の山崎技師（松岡救急クリニック）



↓発表の木佐貫技師（加世田病院）と松野下技師（徳久整形外科）



平成30年度 北薩地域研修会・県秋季学術大会合同開催

出水総合医療センター
溝下 育男

日時 ・ 平成 30 年 10 月 27 日 (土) 14:00 ~ 18:00
会場 ・ 済生会川内病院 新管理棟 4 階 なでしこホール

進行 : いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 恵 雄史

【 開会の挨拶 】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会北薩地域理事 岡野 三男

【 県技師会活動報告 】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会会長 太田原 美郎

【 会員発表 】 14:20~15:00 座長 : 出水総合医療センター 溝下 育男

1. 「 DYNA CT の使用経験 」 出水郡医師会広域医療センター 中村 祥悟
2. 「 肝血管腫のMRI 」 大海クリニック 荒武 俊平
3. 「 Dual Energy CT の使用経験 」 川内市医師会立市民病院 沖中 裕幸
4. 「 大規模災害を想定した緊急時の院内放射線画像ネットワークの構築 」
鹿児島大学病院 若松 重良

【 トピックス 】 15:10~16:40 座長 : 済生会川内病院 村野 和久

1. 「コニカミノルタ最新画像技術について」
コニカ ミノルタジャパン (株) 村上 修一
2. 「富士フイルム外科用X線透視装置 COREVISION のご紹介」
富士フイルムメディカル (株) 増田 雅史
3. 「キャノン FPD CXDI のご紹介」
キャノンライフケアソリューションズ (株) 田淵 信行

【 特別講演 】 座長 : (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原 美郎

「九州電力における原子力発電所の安全対策及び防災対策への取り組み」
九州電力 (株) 原子力発電本部 原子力防災グループ長 河野 智則 先生

【 閉会の挨拶 】 済生会川内病院 兒玉 康照

- ※ ① 技師会非会員の方は、2,000 円徴収致します。
② 日本診療放射線技師会学術研修カウント申請予定です。

《 情報交換会 》

場所 : お(ぞう)川内店 (川内山形屋裏)
時間 : 18:30 ~ 飲み放題 会費 3,500 円

平成 30 年度北薩地域研修会・県秋季学術大会

合同開催終了報告

出水総合医療センター 溝下 育男

平成 30 年 10 月 27 日、済生会川内病院にて平成 30 年度北薩地域研修会・県秋季学術大会を合同開催しました。参加者は 69 名でした。

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター恵雄史技師の司会進行にて研究発表は座長、溝下にて 4 演題でした。

演題①出水郡医師会広域医療センターの中村祥悟技師からは『DYNA CT の使用経験』についてコーンビーム CT では肝臓の IVR において腫瘍の濃染の評価や腫瘍に対する栄養血管の同定、術後における塞栓物質集積の評価などが一度の撮影データで得られるため検査手技や時間の短縮が図られている発表でした。

演題②大海クリニック荒武俊平技師からは『肝血管腫の MRI』について超音波検査後の単純での肝血管の検査で以前から行われていた撮像法を今一度、見直し検討されており、患者様に対してより侵襲の少ない方法での方向性となっている発表でした。

演題③川内市医師会立市民病院の沖中裕幸技師からは『Dual Energy CT の使用経験』については Dual Energy CT は 2 種類のエネルギースペクトルを利用する事により同時に異なる 2 種類のエネルギーの画像データが取得できるので従来の単純な形態情報だけではなく追加情報として組織分別や描出、各種インプラントによるアーチファクトの低減や石灰化や骨の除去などが可能で現在、臨床における使用経験を重ねている発表でした。

演題④鹿児島大学病院の若松重良技師からは『大規模災害を想定した緊急時の院内放射線画像ネットワークの構築』について災害時の画像ネットワークの構築では停電時のポータブル撮影の画像を独自の手法により転送するシステムの説明がありました。緊急時の対応について取組みがなされている発表でした。

4 人の演者の方々は忙しい日々の業務の中、綺麗なスライド作成にて発表でした。誠に有難うございました。日頃から質の高い情報提供に努力されている熱心な取組の状況や創意工夫が伺えました。

トピックスは 3 社より最新画像技術や外科用 X 線透視装置や FPD の最新情報の紹介でした。

特別講演会は九州電力原子力発電本部原子力防災グループ長の河野智則先生より『九州電力における原子力発電所の安全対策及び防災対策への取組み』にて川内原子力発電所の安全対策、防災対策、避難退域時検査、原子力災害医療について講演でした。

会場の済生会川内病院の村野和久技師長さんをはじめ放射線部の皆様へ感謝いたします。情報交換会は飲みニュケーションにて薩摩川内市で盛会な夜でした。

平成30年度 北薩地域 地域理事・世話人

地域理事	:	岡野三男	(医) 杏林会 丸田病院
世話人(総務)	:	兒玉康熙	済生会川内病院
世話人(学術)	:	溝下育男	出水総合医療センター
世話人(学術)	:	前田健一郎	川内市医師会立市民病院
世話人(学術)	:	床波隆幸	出水郡医師会広域医療センター
世話人(編集)	:	村野和久	済生会川内病院
世話人(広報)	:	春口良久	(医) 栄和会 寺田病院
世話人(組織)	:	恵 雄史	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
世話人(表彰)	:	松尾 幸弘	(医) 恵明会 整形外科松元病院
世話人(福利厚生)	:	大迫 正美	県立北薩病院

出席者

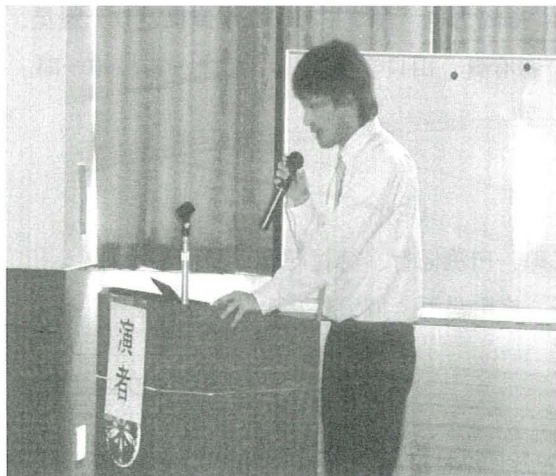
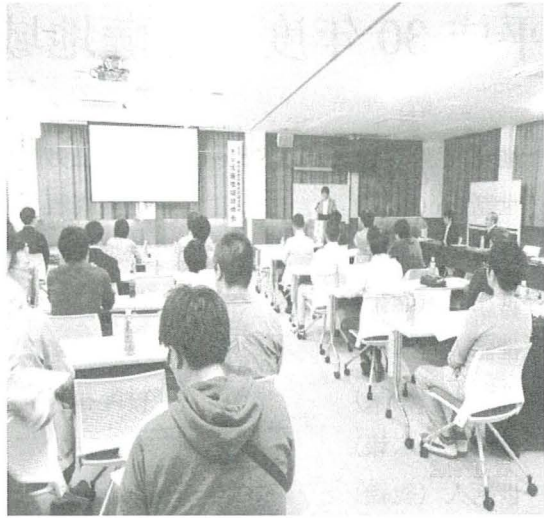
【技師】 56名

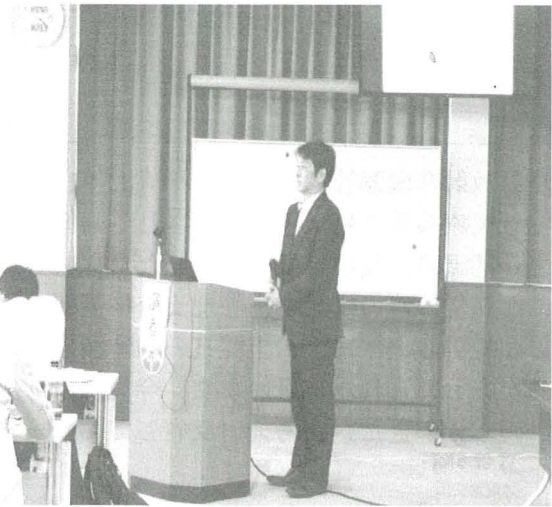
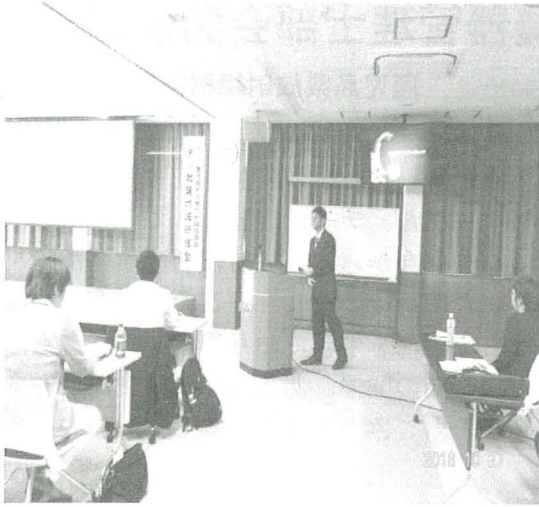
愛下剛、荒武俊平、池下 愛、宇治野喜宣、宇都浩一郎、大久保光男、太田原美郎、岡野三男、岡元琢、小川聖矢、沖中裕幸、神禎子、川上将人、川西義浩、北ノ園雄翔、木林由布、隈元忍、兒玉公輝、兒玉康熙、兒玉遼、小林正剛、佐藤浩司、末永湧也、副島恭平、藺田大樹、平啓一郎、高野勝哉、高野亮一、立神潤、田中義朗、田上浩幸、床波隆幸、鳥原 淳、永野喜之、中村祥吾、西原秀樹、生見良太、野口彰、野中康博、灰床利隆、春口良久、東 聡司、平稔幸、福崎力也、藤崎拓郎、松尾幸弘、牧元魁星、溝下育男、南和成、村野和久、恵雄史、森宥貴、山口 奨、山下大介、吉村伸一郎、若松重良

【メーカー】 13名

大内将、河野智則、佐藤暢紀、末永浩二郎、田淵信行、徳村紀彦、長岡伸太郎、広田崇、増田雅史、松下靖彦、村上修一、室町昌吾、四海保広

(アイウエオ順)





平成30年度 鹿児島県放射線技師会放射線 機器管理士部会開催報告

鹿児島県放射線機器管理士部会
西元 辰也

鹿児島県放射線機器管理士部会が平成30年11月17日（土曜日）14時から開催されました。トピックスとして「医療機器のAI活用で期待される画像診断支援」、また、テーマ討論として「装置のQA・QCに関して」基調講演及び施設報告をいただきました。管理士部会からは「放射線関連機器故障・事故調査」に関しての協力依頼と、管理士資格更新に関しての説明を行いました。ご参加いただきました会員様にお礼申し上げます。土曜日の14時開始ということで勤務をされており出席したくても出席できなかった方もおられたと思います。今後はもう少し遅い時間の開催、あるいは日曜日開催を念頭に入れて計画していきたいと考え、反省しております。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

- ・日時 平成30年11月17日（土）14時00分 ～ 17時00分
- ・会場 鹿児島市立病院 2階大会議室
- ・内容

【 県技師会活動報告 】（公社）鹿児島県診療放射線技師会 副会長 藤崎 拓郎

【 部会活動報告 】 14：10～14：40 鹿児島県放射線機器管理士部会 部会長 西元 辰也

1. 放射線機器管理士部会 活動報告
2. 「放射線関連機器故障・事故調査」に関して
3. 管理士資格更新に関して

【 トピックス 】 14：40～15：40

テーマ：医療機器のAI活用で期待される画像診断支援

1. 「画像診断へ貢献するためのVNA を基盤とした機械学習の貢献」

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 ヘルスケアIT営業部 宇賀神 翔 先生

2. 「AI技術の現状と今後の展望」

富士フィルムメディカル株式会社 九州ITソリューションセンター 大平 進也 先生

【 テーマ討論 】 15：40～17：00

～ 装置のQA・QCに関して ～

司会：鹿児島市立病院 西元辰也

鹿児島市医師会病院 橋口 満

基調講演（40分） 装置管理の重要性について

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 九州支社フィールドサポート部 田中 史郎 先生

施設報告（40分）

- | | | |
|-----------|-----------|--------|
| ①透視装置 | 鹿児島市医師会病院 | 吉村洋一 氏 |
| ②CT撮影装置 | 今給黎総合病院 | 中村亮也 氏 |
| ③MRI 撮像装置 | 南風病院 | 中原武志 氏 |
| ④核医学検査装置 | 鹿児島市立病院 | 米田寛彬 氏 |

- ・参加人数 27名参加（以下内訳）

会員：21名 非会員：0名 メーカー：6名

- ・参加者名簿（敬称略、順不同）

隈 浩 司 米 重 亮 馬 木 原 悠 太 米 田 寛 彬 小 屋 俊 彰 中 原 武 志
 中 村 亮 也 宇 治 野 善 宜 吉 村 洋 一 川 野 聖 也 飯 伏 順 一 新 村 栄 次
 四 本 齊 林 幸 志 郎 市 園 淳 二 島 児 末 治 谷 口 裕 樹 藤 崎 拓 郎
 三 反 田 正 紀 橋 口 満 西 元 辰 也 他 6 名



平成30年度 放射線機器管理士部会

技師会挨拶



部会長挨拶

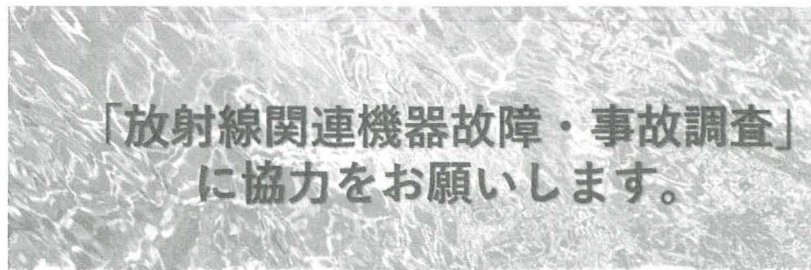
部会活動報告

鹿児島県の状況

鹿児島県内の認定資格の状況 (2018.11月現在)

鹿児島県放射線技師会会員	526名
放射線機器管理士	55名
放射線管理士	57名
医療画像情報精度管理士	45名
臨床実習指導者教員	14名
放射線被ばく相談員	1名

「放射線関連機器故障・
事故調査」に関して
の協力依頼



このデータの蓄積ならびに分析は、放射線診療の安全性向上と診療報酬改定へ向けての貴重な資料となり、医療機器の安全管理のエビデンスとして極めて重要でありますので、ご協力をお願いいたします。

(フォーマットについては頒布いたしますので西元まで)

管理士資格更新について

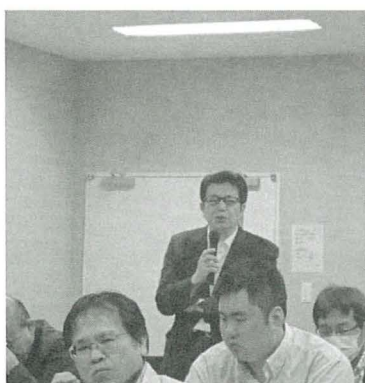
認定資格の更新について

本会の認定資格は5年ごとの更新制度を採用しています。更新のためには、以下のどちらかの要件を満たす必要があります。

- 書類審査では、更新カウントおよび生涯カウントの合計が5年間で100カウントを取得していること。ただし、更新カウントは1カウント以上取得していなければならない
- 更新のための書類審査、またはe-ラーニングによる講習、確認試験に合格すること。

毎年、更新対象者に対して本会より更新の手引き（6月頃）が送付されますので、更新対象者は必ず確認するようにしてください。更新申請書類の提出締め切りは毎年9月末日です。なお、更新のための実績書類を提出せず更新講習のみを希望することも可能です。そのためには、9月末日までに更新講習を受講するための意思表示が必要となりますので、更新の手引きにしたがって、更新講習の申請をする必要がありますので注意してください。なお、平成25年度より更新講習会はe-learningにて実施いたします。

(JARTのホームページより)



第10回 鹿児島X線撮影研究会記念大会報告

鹿児島X線撮影研究会
馬場 隆行

第10回鹿児島X線撮影研究会を平成30年8月25日(土)14:30から18:00まで、今村総合病院 ベイサイド錦江にて開催しました。

今回は10回目の開催を記念して、特別講演と10回記念企画の2本立てで開催しました。



特別講演 今村総合病院 スポーツ整形外科部長 福島佳織先生

特別講演は、今村総合病院 スポーツ整形外科部長 福島佳織先生が、「スポーツ整形外科領域における画像診断の重要性」の題で講演していただきました。

福島先生は鶴丸高校に入学と同時に柔道をはじめて、全国高校選手権個人で3位など、すぐに頭角を現し、日の丸をつけて全国大会に出場することを目標に一般入試で筑波大学体育保健群に入学するも度重なるケガで柔道家の道を断念し、医師への道を進みました。ご自分の経験から、ケガをした患者に寄り添い、常にベストを尽くす姿勢は患者やスタッフからの絶大なる信頼を得ています。その姿勢から、画像に求める要求も高く、妥協は許されません。今回の講演のなかでは、臨床事例を多く示され、わかりやすいが、熱い内容となりました。紙面を借りてお礼申し上げます。

さて、後半は10回記念企画として、近年全国的に注目されている、撮影補助具に中心に展開しました。テーマは「知って、作って、使って得する撮影補助具！」としました



総合司会 森川技師



南風病院 柳川技師



徳久整形 松野下技師

総合司会と座長は今回より新しく世話人になっていただいた、米盛病院の森川技師が快く引き受けてくださり、初めてとは感じさせない軽快な進行となりました。撮影補助具の活用紹介を南風病院の柳川技師がスカプラYについて、実際に撮影補助具に手順等を記入しておくことと迷わないと、裏ワザを教えてくださいました。膝蓋骨軸位は鹿児島大学病院の大園技師が自施設の撮影の歴史を踏まえ臨床に則したわかりやすい内容となりました。手根管については徳久整形外科の松野下技師が、詳細に時間をかけて作り込まれたスライドを時間内に、いつものように懇切丁寧な講義となりました。

引き続き、「影補助具の原理を理解して、高精度で再現性のいい画像を撮影しよう」と題して、今村総合病院の馬場技師が長年の実績を基にし、臨床での活用法など、実際に使いたくなる話でした。時間が予定よりオーバーし森川座長より「チーン！」のチャイムを頂きました。



鹿児島大学 大園技師

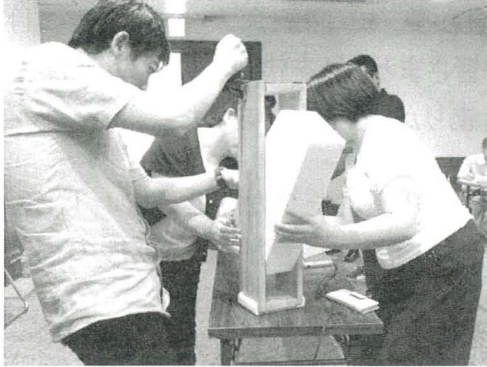


今村総合 馬場技師



医療センター村山技師

補助具作成体験は、近年、全国学会でも開催しており、発泡スチロールをニクロム線で精密にカットし、①肘関節側面用+頸椎側面斜位用 ②仰臥位膝側面用+中足骨用 ③膝蓋骨軸位用 ④手根管用などを要望に応じて作成していただきました。



補助具作成体験の様子
今給黎総合病院 丸尾技師



松岡救急クリニック山崎技師
おぐら病院の山神技師

作成講師は今村総合病院の岩下技師、松岡救急クリニックの山崎技師、おぐら病院の山神技師、南風病院の柳川技師、霧島市立医師会医療センターの池田技師、鹿児島医療センターの村山技師達が、笑顔の絶えない親切な指導で会場は和やかな雰囲気になっていました。



霧島市立医師会医療センターの池田技師
今村総合病院の岩下技師



閉会挨拶
鹿児島医療技術専門学校の有菌技師

閉会挨拶のあいさつを鹿児島医療技術専門学校の有菌技師が行い、本会は終了しました。

情報交換会では今回の反省と次回のテーマが話し合われ、次回は頸椎となる予定となりました。夜が更けても撮影技術の熱い話は盛り上がり、笑いと涙に包まれ、エンドレスになりそうな個人のあいさつを ようやく回避し、情報交換会はお開きとなりました。

2013年に発足した、鹿児島X線撮影研究会が第 10 回記念大会までこぎつけられたのは、毎回遠方より参加していただいた会員の皆さまと、労を惜しまない献身的な世話人の皆さまと、技師会事務局の皆さまのお蔭です。ありがとうございました。

これからも、鹿児島県の撮影技術の向上に努め「撮れた？から撮った！！」達成感のある撮影業務の一助と成りますように努力まいりますので、参加と、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

鹿児島消化器画像研究会・鹿児島超音波研究会 合同
 (第64回 鹿児島消化器画像研究会・第14回 鹿児島超音波研究会)

南鹿児島消化器画像研究会
 日高 稔

日時 平成 30 年 10 月 24 日 (水)
 時間 19 時 00 分 ～ 21 時 00 分
 会場 鹿児島厚生連健康管理センター 1F 多目的ホール

PROGRAM 1

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 【 超音波レクチャー 】 | 19 : 00 ～ 19 : 20 |
| 胆嚢について | いずろ今村病院 上釜 健作 |
| 【 症例発表『心に残った超音波症例』 】 | 19 : 20 ～ 20 : 00 |
| 肝・胆・膵領域 | 鹿児島共済会南風病院 日高 稔 |
| 消化管領域 | 霧島市立医師会医療センター 塩屋 晋吾 |

PROGRAM2

- | | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 【 症例発表『心に残ったX線透視症例』 】 | 20 : 00 ～ 20 : 40 |
| 発表施設 | 今村総合病院 大坪 丈太郎
霧島市立医師会医療センター 橋本 隆志 |
| 【 X線透視レクチャー 】 | 20 : 40 ～ 21 : 00 |
| ERCP について | 鹿児島厚生連病院 萩原 純久 |

第 64 回鹿児島消化器画像研究会・第 14 回鹿児島超音波研究会報告

鹿児島消化器画像研究会 日高 稔

平成 30 年 10 月 24 日 (水)、鹿児島厚生連健康管理センターにて鹿児島消化器画像研究会を鹿児島超音波研究会と合同開催し、48 名(会員 43 名・非会員 4 名、メーカー 1 名)の参加があった。

プログラム 1 の超音波レクチャーでは、いづろ今村病院の上釜技師が超音波を中心とした『胆嚢について』発表がありました。基本的な解剖やさまざまな症例画像についてレクチャーがありました。次に、超音波症例報告では肝・胆・膵領域として南風病院の日高技師が『胆管癌の 1 例』を、消化管領域として霧島市立医師会医療センターの塩屋技師が『稀な消化管症例』について発表があった。さまざまな領域において超音波検査の有用性を感じられる内容であった。

プログラム 2 の X 線の透視透視症例では今村総合病院の大坪技師と霧島市立医師会医療センターの橋本技師が消化管 X 線症例について報告があった。X 線画像評価や内視鏡と X 線の対比・検討の必要性を感じられる内容であった。次に、X 線透視レクチャーでは鹿児島厚生連病院の萩原技師から『ERCP について』の発表があり、検査・手技に関して実際の検査画像および動画を使用したレクチャーがあり、検査だけでなく臨床における治療法まで理解できる内容であった。

今年度の消化器画像研究会は、平成 31 年 2 月 9 日 (土) に南風病院で開催です。次回も鹿児島超音波研究会と合同にて行う予定でおります。会員、非会員問わず多くの方の参加をお待ちしております。

【平成 29・30 年度 鹿児島消化器画像研究会世話人】

代表	: 淵脇 崇史(南風病院)	副代表	: 米山 信司(鹿児島赤十字病院)
世話人	: 脇田 慎一(いづろ今村病院)	米倉 英治(ヘルスサポート鹿児島)	
	松下 啓(今村総合病院)	萩原 純久(鹿児島厚生連病院)	
	恒吉 雅也(鹿児島厚生連健康管理センター)	橋本 隆志(霧島市立医師会医療センター)	
事務局	: 日高 稔(南風病院)		

【平成 29・30 年度 鹿児島超音波研究会世話人】

代表	: 塩屋 晋吾(霧島市立医師会医療センター)	國生 岳志(指宿浩然会病院)
世話人	: 西 憲文(鹿児島厚生連病院)	原口 織歌(相良病院)
	上釜 健作(いづろ今村病院)	
事務局	: 久保 幸子(南風病院)	

【参加者：会員】

淵脇崇史 平賀真雄 岩下昌平 久保幸子 萩原純久 上釜健作 塩屋晋吾 日高稔 橋本隆志 巖谷智美 木村圭佑
大坪丈太郎 徳永美紅 松下啓 中村晋輔 上舞優介 宅間鈴夏 福元裕梨 脇田慎一 新村栄次 潮美邑 寺脇愛子
小谷裕樹 山下大介 四本斉 米倉英治 国生岳志 吉村洋一 原口織歌 松元みどり 浮田啓一郎 加治屋博一 藪田大樹
坪口彩香 橋口満 穂山和幸 梅北陽平 楠元亮太 藤崎拓郎 恒吉雅也 西憲文 飯伏順一(順不同)



研究会風景

レントゲン週間イベント活動報告

鹿児島県放射線技師会 学術担当理事
浮田 啓一郎

10月21日(日)金木犀が香る秋晴れの中 レントゲン週間イベントをベルグ広場で開催しました。ピンクリボン in かごしまとの共催イベントということで、会場の一角に鹿児島県診療放射線技師会のブースを設け、にぎやかな雰囲気の中イベントを行いました。

イベントの内容としては骨密度測定、レントゲン博士の業績・被ばくの啓発・臨床画像ギャラリー・診療放射線技師の仕事紹介や鹿児島県診療放射線技師会の活動内容などを紹介するパネル展示、医療被ばく相談、コンブ・減塩塩・カリ肥料・御影石などから出る放射線をGM管で測定してもらう放射線測定体験やマンモグラフィーの簡単な見方を教えるレクチャーなどを行いました。

そして今年の新企画、垂水中央病院島児さん発案の超音波を使って黒いビニールで覆ったゼリーの中身をあててもらおうという『超音波であそぼう』というコーナーが人気を集め、多くの子供さんや大人まで目を輝かせて楽しんでいました。

また今年は 92 名の方にアンケートに協力してもらい、診療放射線技師の認知度や医療被ばくに対する不安に関する調査も行いました。診療放射線技師の認知度に関しては仕事内容まで把握している方は半数もおらず、まだまだ我々診療放射線技師の認知度の低さを再認識しました。医療被ばくに関する不安については



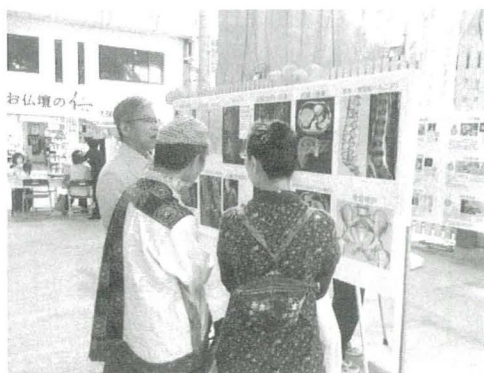
骨密度測定

今年は 90 名の方を測定しました



本部ブース

骨密度の結果説明とアンケートの回収
粗品の進呈を行いました



パネル展示

臨床画像ギャラリー

約 30%の方が感じたことがあるようです。詳細な書き込みがある方に対しては医療被ばく相談へ誘導するようにし、今年は2名の方が被ばく相談を受けられました。

最期になりますが、休日にもかかわらず、県内のいろいろな施設の皆様にスタッフとしてご協力いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

レントゲン週間イベントスタッフ

浮田啓一郎 川畑朋之（今給黎総合病院）

島見末治（垂水中央病院）

松野下直美（徳久整形外科）

川西義浩（南州メディカル）

東幸浩（鹿児島医療技術専門学校）

宝満美咲 古川葵（相良病院）

寺園詩穂（鹿児島市立病院）

以上9名の皆さん



身近な放射線を測定してみよう

減塩塩やカリ肥料から出る放射線にびっくり



マンモグラフィの見方のレクチャー



スタッフの集合写真



超音波であそぼう

子供だけでなく大人も楽しめる!?

災害支援診療放射線技師研修会報告

社会医療法人緑泉会 米盛病院
伊藤 大助

各地で発生する災害時の対応と災害医療への関心が深まる中、DMAT(災害時派遣医療チーム)、JMAT(日本医師会災害医療チーム)をはじめとした各団体や、災害支援ナース、災害時支援薬剤師、JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会チーム)等の職能団体の活動同様に、診療放射線技師が出来ること、すべきことを日本診療放射線技師会として認定資格とし、活動すべく検討が進められている。

この動きの一つとして、平成 29 年 12 月 23 日(祝),24 日(日) 日本診療放射線技師会 講義室において災害支援診療放射線技師研修会が開催された。本研修会は、1. 放射線業務専門職の災害時支援者として、被災地や被災者にとって有効に機能できる能力を習得する。2. 災害支援診療放射線技師としてチーム医療の一員としての活動ができる。3. 各地の災害時における診療放射線技師による支援活動チームの構築。の 3 つを目的とし、各県から代表者 1 名、計 47 名が集まったの研修であった。

①2015 年 8 月に改正された原子力災害対策指針の変遷、原子力災害医療体制における医療機関での対応(情報収集や確認、患者受け入れ、サーベイ、除染、片付け)や避難退域時検査、確認検査と簡易除染など放射線災害時の知識や対応についての講義と、GM サーベイメータを用いた確認検査のサーベイ実習(セグメント法による全身汚染検査)、②災害と災害医療の概論と歴史、災害対策(防災)についての講義、災害時における診療放射線技師としての役割(支援、受援)や安全管理、衛生管理について、また医療チームの一員としての役割や活動についての講義とグループワーク、さらには③超音波の基礎から下肢静脈超音波検査について解剖、病態、検査法についての講義と圧迫法による下肢静脈の確認、描出実習があった。以上、大きく 3 つの項目について座学と実技で構成されており、災害時の対応や診療放射線技師として出来ることについて、理解を深めた。

とりわけ原子力災害医療においては、放射線のプロである診療放射線技師が中心的存在として活躍すべきであり、それを実現するために平時から意識を持ち、対応の準備(心の準備も)しておくことが重要である。今回の研修対象者は各県のサーベイチームを基本に選出されたが、本県チームはやや整備が遅れているようである。これを機会に県技師会、放射線管理士部会と連携を密にし、原発立地県として放射線災害時に対応の遅れや不備がないように関係を構築していきたい。資格認定制度についても現在進行形であり、今後も日本診療放射線技師会の動きを注視したい。

この度は鹿児島県診療放射線技師会を代表してこのような機会を与えていただきました、太田原会長はじめ、県技師会理事、関係者の皆様に感謝申し上げます。

大隅地域診療放射線技師交流会

恒心会 おぐら病院
山本秀明

平成 30 年 11 月 15 日（木）に大隅地域放射線技師交流会を開催しました。毎年、忘年会シーズンの前に技師会活動を理解して頂くと共に各施設の交流を深める事を目的として、この時期に企画を行い、今回 28 施設に参加案内を行い 18 施設、28 名の参加がありました。3 年前より、大隅鹿屋病院の放射線科医長 小林秀章先生に参加して頂き 20 分～30 分程度の画像診断のレクチャーをして頂いています。

今回は、急性腹症に関する症例を提示していただき、画像を見ながら質問形式で若い技師を対象に画像の読影方法などをレクチャーして頂きました。急性腹症の腸閉塞を中心に小林先生が画像を提示しながら特徴的な画像所見、所見のとらえ方、注意点などを教えて頂きました。

レクチャーの後は、食事をしながら各施設間で交流を深めることができ、情報交換の場となりました。

今回、レクチャーをして頂いた、小林先生、プロジェクターを準備して頂いた、鹿屋医療センター、平日にもかかわらず参加して下さいました技師の方、有難うございました。



仕事とスポーツ（まさかの第二報）

J2 京都パープルサンガ入団 上夷克典について

（医）杏林会 丸田病院 岡野三男

平成28年2月の県技師会会報、第124号に鹿島アントラーズ赤崎秀平後援会長の件で会員投稿を最初で最後と思い書きました。

しかし、昨年11月7日の16時頃、大腸内視鏡検査後の注腸検査終了後に父方で従姉の長男、上夷松蔵からメールがありました。

「今日、克典が京都パープルサンガへ入団が内定しました」と私は驚きと嬉しさで直ぐにメール先の克典の父親である松蔵へ祝福の電話をかけました。現在、明治大学4年生サッカー一部センターバックの上夷克典がプロサッカーJ2京都パープルサンガの入団が決まり、まさかの会員投稿第二報を書くことになりました。従姉の孫で遠縁ですが申し訳ございません。将来はサッカー関係の仕事に就くとは思っていませんでしたが・・・？
オファーの話があったそうですが・・・まさかJリーグ入団とは・・・！

また私の好きな京都パープルサンガとは驚きです。私は放射線技師学校入学前に京セラ川内勤務のサラリーマンでした。長男の拓真も京セラ川内勤務で社会人サッカーや社内ではフットサルの大会がありサッカーで飯は食ってませんがサッカーのために飯を食ってます。京セラ川内は社員3000人からで鹿児島実業サッカー部OB遠藤兄弟の長男さんや野見山さんなどサッカーレジェンドが多いです。これからはパープルサンガのメインスポンサーが京セラなので応援しなければなりません。

上夷克典は小学生1年から串木野FC（フットボールクラブ）でサッカーを始めボールさばきが上手で足元の技術が高い子でした。身体能力も高く、身長も祖父、父（バスケット）、兄（サッカー・キーパー）・弟（バスケット）ともに高いです。中学は日置市の鹿児島育英館中学校から鹿児島城西高校とレギュラーで活躍しインターハイや全国選手権大会に出場し、高校時代はDF（ディフェンダー）九州No1と称されサッカーマガジンなどで取り上げられ明治大学へ進み、センターバックで活躍しました。関東1部リーグでは失点数第2位で堅守を作り上げて身長180センチを生かした粘り強い守備が武器でセットプレーでの攻撃参加にも定評があります。

2016年の総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントで順天堂大学に1-0で勝ち優勝、2017年は決勝で法政大学に1-0で敗れて準優勝、2018年は大阪体育大学に2-0で勝ち優勝しました。大学選手権などでも好成績を残しました。今春は明治大学サッカー部のセンターバック2名と計6名のJリーグ入団となります。

京都パープルサンガからは『身体能力が高く、スピードと高さを兼ね備えたDFで足元の技術にも長けていて、ビルドアップにも定評があるプレイヤー』と評価している。（明治大学サッカー部・吉見総監督より）

私の三男坊、亮真が小学時の串木野FCで友人の赤崎秀平君、現在は川崎フロンターレから2020年1月31日までの1年間の期限付き移籍で名古屋グランパスに所属します。赤崎秀平後援会長のため2人の応援をしなければなりません。

年始はグランパスのキャンプやJリーグ、天皇杯、ナビスコカップ、大阪、神戸、広島、大分、鳥栖でのアウェー試合、パープルサンガの福岡、長崎、熊本、白波スタジアムなどサポーターで一段と忙しい日々になりそうです。

サッカーはバロンドール（世界最優秀選手）のモドリッチのようにドリブルなどボールさばきが上手で技術的に高いファンタジスタなプレーが魅力です。X線撮影や消化管造影検査、超音波検査などの手技もサッカー同様に装置さばきを上手に撮影技術の魅力を生かせば所見描出など診断価値の高い画像提供になります。私の知人でサッカーが上手になりたいために海外サッカーへ武者修行したの也有います。本物志向になるには上手な人に習う。師に3年とか言います。

サッカーで足元の技術が高いファンタジスタなドリブルやパス同様、X線撮影技術を磨き診断価値の高い画像情報提供で的確な診断にアシストしなければなりません
仕事などリフレッシュのためのサッカー観戦ですが愛するチームと選手のサポーターです。皆様の応援も宜しく願いいたします。



公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 平成30年度 第3回 理事会議事録

日時：平成30年8月19日（日）12:20～13:30

場所：鹿児島市立病院 2階 大会議室

出席理事：太田原 藤崎（拓）野中 岡野 島児 坂口 大迫 松野下 吉村 西 伊藤 藤崎（誠）奥西 浮田 東岩元 渡邊 宇治野 佐々木（敬称略）

出席監事：池田（敬称略）

欠席理事：中山（敬称略）

議長：太田原美郎

議事録署名人：太田原美郎

開会：太田原会長より理事の過半数以上が出席しており、平成30年度第3回理事会の開催が宣言された。

議題

(1)報告事項

①10月21日のレントゲン週間に関して（浮田理事より）

骨密度測定について1台で運用するのかもう1台借りて2台でするのか迷っている。

浮田理事を含め7名くらいを考えている。当日、ジャパン・マンモグラフィ・サンデーのイベントが開催されるため、市立病院、相良病院からの応援は厳しいので、他の施設からの協力いただきたい。

太田原会長：レントゲン週間イベントは、県技師会とピンクリボンが共催で行っているため、ユニフォームの色はピンクにこだわる必要はない。ユニフォーム作成は案がまとまり次第報告を。

日放技会から助成金や物資の支援の話が来るが、昨年も今年も日放技会より先にピンクリボンの方の後援が決まるので、本来、レントゲン週間イベントは、日放技が後援しているので、ピンクリボンの共催がいいのが問題になるので、来年度は日放技会の方に県技師会の方から共催で行う旨を先に伝えてください。

②ワークショップについて（太田原会長より）

7月28～29日に、全国の県放射線技師会の代表者が集まり、ワークショップが開催された。7項目くらいの事案について各ブロックに分かれてワークショップが行われ、建設的な意見が出たが、これらについては日放技会が取りまとめて報告すること。

③診療報酬に関わるアンケートについて（太田原会長より）

鹿児島県からは36施設集まった。ご協力有難うございました。日放技会からも大変感謝しているとのこと。

④骨関節撮影分科会について（松野下理事より）

来年度、分科会としては3回セミナーを行いたい。そのうち2回は東京と京都で開催予定が決まっている。昨年度が赤字だったので、来年度はそうならないような参加人数（150名）を目指したいとのこと、あと1回を九州地域のどこか良いところでセミナーを行いたいとのこと。第1希望を熊本、第2希望を福岡、第3希望を鹿児島で考えている。熊本に打診している。おそらく大丈夫であろうとの返事はいただいている。熊本が駄目なときは福岡で開催してもよいと九大病院の加藤技師長より確認をいただいている。来年の12月に開催する予定。

⑤業務拡大による統一講習会（藤崎（拓）理事より）

現在、10月20～21日に、開催予定の業務拡大に伴う統一講習会の受講生の受付を日放技会のHPで行っている。

太田原会長より：鹿児島市の医療監視時に、受講状況について指導を行うようお願いして、実際に行っているようだが、鹿児島県の医療監視時の指導は、まだまだのようなので再度県庁へお願いに行こうかと考えている。

(2)表彰について（野中理事より）

締切は11月19日。8月中旬に1回案内をして10月上旬にもう1回連絡する予定。昨年は6人候補者が出て日放技会に申請したところ全員受賞された。

太田原会長より：橋口氏の表彰について話を進めるように。来年度の表彰を受けるには今年11月には書類が出来上がっていないと間に合わないので早めの準備をお願いします。

(3)放射線管理士部会・機器管理士部会の組織強化について（太田原会長より）

現在、放射線管理士部会の部長が藤崎副会長、機器管理士部会の部長が市立病院の西元氏になっているが、部長しか動く人がいなくて、この2人が忙しい時は全く組織が動かないということになる。九州地区の学術大会が鹿児島で開催されたこともあったが、去年の部会の実績は0であった。それは問題なので、個人で動くのではなく、組織として動けるように強化したい。この2つの部会に医療画像情報精度管理士部会も含めて部長の方でリストを作りメンバーを構成して欲しい。例えば副部会長を2人くらいと委員を何名かといった感じで……。9月中にはメンバーの組織表を作って、10月上旬にはそのメンバーで1度話をしましょう。構成に関しては、各部会の部長が動きやすい体制を作って欲しいです。

(4)鹿児島県におけるX線撮影時の被ばく線量調査について（太田原会長より）

実際のところ実測はまだ1施設も行なわれていない。県内の30施設くらいを対象にリストは作成済。学校の方に線量計があり、使用の許可も取ってある。線量計を持っている施設に関しては、まずは自分の施設を測定していただきたい。線量計がない施設は県技師会が日程等を伺って訪問して測定することを考えている。これは線管理士部会に事業の1つになると思うので、

線管理士部会のメンバーが中心となってやっていただきたい。測定を実施したことを公表することよりも被ばく線量の正当な評価を鹿児島県診療放射線技師会がきちんとやっているということが目的です。今のところ単純撮影のみを考えている。将来的には他のモダリティの線量測定についても考えている。

(5)鹿児島県における診療放射線技師連絡体制について（太田原会長より）

今回の診療報酬のアンケート依頼みたいに、日放技会から急ぎのアンケートの依頼等があった時などは、まず会長が理事に連絡して、各理事が近隣のつながっている施設に連絡する方法を取っているが、末端までなかなか届かない状況は問題である。地域支部（北薩、霧島、始良など）は、連絡網がきちんとできているみたいだが、鹿児島支部だけが末端まで行き届いてない模様。技師会に入っている技師には最低必要な事項が届くような組織作りをしたい。

(6)災害時緊急連絡網の整備（太田原会長より）

議題(5)と関連してくるのだが、例えば鹿児島で災害があった時に、他の施設から応援に行こうとしても、どの施設が何人出してくれるのか等、状況が把握できてないと迅速にかつ適切に派遣できない。熊本地震の時も大分、長崎、福岡からは技師の応援が出せたが鹿児島からは応援が出せなかった。したがってその点についての緊急連絡網も整備しなければならない。伊藤理事を中心に組織をきちんと作るようお願いします。1つの考え方とすれば、各施設の技師長の連絡網（リスト）があれば、各々の施設の部員には連絡が届くと思われる。

災害が起きた時の派遣に関してはどの施設も基本的には病院に対して要請が来るため、有給で行くのではなく勤務扱いとして行く。技師会を通して要請が来たとしても必ず施設長の許可を得てから行くことになる。

広告掲載一覧（順不同）

会社名	郵便番号	住所
東洋メディック株式会社 福岡支店	812-0007	福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40 コロナ福岡ビル4F
バイエル薬品株式会社	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル 2F
株式会社 八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目29-5
シーメンス・ジャパン 南九州 営業所/サービスオフィス	892-0823	鹿児島市住吉町12-11 鹿児島共同倉庫本社ビル 1F
GEヘルスケアジャパン株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島市与次郎2丁目4-3 5 KSC鴨池ビル 3F
フィリップスエレクトロニクスジャパン 鹿児島営業所	890-0065	鹿児島市与次郎2丁目4-3 5 KSC鴨池ビル7F
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 (芙蓉ビル 3F)
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル 3F
株式会社千代田テクノル 福岡営業所	812-0037	福岡市博多区祇園町1番27号
富士フィルム富山化学株式会社 鹿児島営業所	890-0073	鹿児島市宇宿1-13-10

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 平成30年度 第1回 常務理事会議事録

日時：平成30年11月18日（日）11:00～14:00

場所：鹿児島県診療放射線技師会 坂元事務所

出席理事：太田原 藤崎（拓）野中 島兒 奥西 吉村 浮田 東 岩元 渡邊 宇治野 佐々木（順不同・敬称略）

欠席理事・監事：池田監事 松野下 藤崎（誠） 西 伊藤（順不同・敬称略）

議長：太田原美郎

議事録署名人：太田原美郎

開会：太田原会長より理事の過半数以上が出席しており、平成30年度第1回常務理事会の開催が宣言された。

議題

1. 経過報告

(1) 会長報告

・事務所の老朽化について

事務所の老朽化について、事務所を修繕するか、もしくは売却して市内にマンションを借りるか。他の職能団体に声をかけて、共同の場所を設けるか。来年度の予算に検討項目として入れる必要がある。

・第13回九州放射線医療技術学術大会

11月9、10日に沖縄の那覇市内で第13回九州放射線医療技術学術大会が開催された。県の技師会からは会長として太田原氏が、教育委員として藤崎副会長が参加した。学会自体は盛大に行われたが鹿児島県からの演題数が15程度で少なかったのが残念だった。場所が沖縄だったということもあり仕方がないのかもしれない。来年は熊本で開催される。

・日本診療放射線技師連盟

現在技師会が、厚労省がやっている3つの委員会がある。国家試験の話や、医療安全（放射線安全管理部門）を作るなどの法案のことなどの委員会である。病院の中

で医療安全管理室があり、その下に各部門がぶら下がって構成されていると思う。例えば感染部門の責任者は看護師であったり、医療安全管理室は副病院長が室長であったりする。医療技術部門もぶら下がっていて、放射線機器に関する放射線部門も存在する。当然放射線技師が責任者となるのが妥当なわけだが、その委員会の中の放射線放射線医学学会の会長がなぜ技師にやらせるのかといつも邪魔をする。結局その意見に厚労省も押されてしまい、放射線技師を外す方向に持っていかれる。この件について JART の中澤会長が言うには、厚労省ではなく政治家から言ってもらわないとこの現状を打破できない。そのためには資金が必要になるが技師会のお金を使うわけにはいかないの、技師連盟の人数を増やし、その活動資金で賄っていく必要があると考えている。

・平成30年度原子力災害時医療研修

総務省が主催。県が母体となって動く。日程は11月23、24日。23日は鹿児島大学病院で、24日は済生会川内病院で開催される。会長が不在のため、23日は東理事に出会っていただく。24日については岡野理事に声掛けをしてもらい、川内済生会から1人、市立病院から1人出ていただけるとのこと。

・JART 給与調査依頼

鹿児島県内で今のところ返事がきてるのは2施設の5名。鹿児島県としては50名くらい集めたい。期日は12月末まで。本部の方から全国で2,000名くらい集めたいとのこと。厚労省を動かすためにはそれくらいの数が必要である。将来的には我々技師の待遇改善につながる事なので、是非ともご協力いただきたい。

・レントゲン週間イベントにおける県臨床検査技師会からの指摘事項

レントゲン週間イベントで放射線技師の紹介のとこ

ろに超音波検査は画像が見れる放射線技師が行うとメリットが大きいと書いてあることに対して、じゃあ臨床検査技師がしてはダメなのかという風にとらえかねないと複数の検査技師会の方が検査技師の会長に報告し、そのことを検査技師の会長から指摘された。太田原会長は一報を受けた時、電話とメールでその旨を報告した。JARTの中澤会長はすぐに紙を貼りなさいと事務局の担当者に指示したが不手際だったのか太田原会長には対応の返事はこなかった。そもそもホームページにそのようなことが書かれているためそちらを直してほしいと後日、太田原会長が中澤会長にお願いしたところ、訂正には500万くらいかかるとのことですぐに対応できないので、来年度の予算に組んで対応するとのことだった。

(2)九州地域放射線技師研修会(12/8(土))について(藤崎副会長)

今回は鹿児島が担当。場所は市立病院。理事は研修会参加はもちろんのこと、可能なら情報交換会の2次会までご参加いただきたい。開催マニュアルがあるので、当日参加できる理事は実行委員として受付や会場整備などお手伝いをお願いしたい。情報交換会は本来5,000円のところ技師会からの援助で3,000円にしている。急病センターの研修を兼ねており、1時間30分でその研修が成立と見なされるため、途中で抜ける人が多くなった場合、参加人数が少なくなることが懸念されるので、理事の方は近隣の施設に声掛けをお願いしたい。

(3)表彰について(野中副会長)

JART 50年の表彰者が1名、30年の表彰者が5名おり、推薦書を提出したが、そのうち2名が今年度の会費が未納になっているとの指摘を受けた。会費未納者についてはJARTからも催促するとのことである。

(4)TV会議について(島児地域理事)

10月24日に開催された鹿児島消化器及び鹿児島超音波画像研究会にてテレビ会議配信テストを行なった。ホスト側は開催場所である鹿児島厚生連病院(さがら病院大迫地域理事、島児地域理事、リコー業者)、配信先は垂水中央病院と霧島医療センター(坂口地域理事)とした。結果とし

て、配信側はWi-Fiの通信時間制限の有無及び画像配信速度のチェックをしていなかったため、通信先との調整中に通信不能となった。通信再開後は研修会が始まってしまい調整ができなかった。また配信先では画像は良好であったが最初のタイトルから画像が動かないという事態になってしまった。音声については、ホスト側の音声は届いたが配信先からの音声は聞こえなかった。外付けカメラの画像は悪く、ノートPCの音声はノイズが多く聞き取れなかった。技師会のノートPCが映像、音量ともに良好だった。

これらの結果より以下の課題点があげられた。

①事前に配信側施設のWi-Fiの通信時間制限の有無及び画像配信速度のチェックを行う必要がある。

②配信側及び配信先のネット使用回線について施設長の許可が得られるか把握が必要。

③原則有線LANが望ましいが、配信側がネット回線使用不可の場合は携帯用Wi-Fiルータが必須となるため、契約内容を検討する必要がある。

④前日のネット上で音声含めた配信テストは良好だったため、開催30分前から準備を行ったが不慣れのため、タイムリーに遂行できなかった。今後も地域との連絡を密にテストを行う必要がある。

⑤稼働に向け、配信側及び配信先を含めたTV会議担当者会議を行う必要がある。

次回は以上の点を踏まえ、11月21日(水)に垂水中央病院で配信テストを行う。

太田原会長より、課題点を踏まえそのまま継続してテスト配信してもらいたい、もう少し運用が上手いかなと契約するのは難しいと考えられる。業者の選定についてはお話し期間が30日と長く、各地域にも説明をしていただいているリコーが現実的で良いと思われる。

(5)長期会員の会費免除について(島児地域理事)

技師会費減額アンケートを50~69歳の技師会会員117名を対象にメーカー便及び郵送にて送付した。回収期間は12月20日までとし、集計、分析については来年度1月中に行う。JARTの会費については来年度から減額するという話がでている。県の技師会費については、このアンケートの結果をもとに再度理事会で話し合い、検討していく。

(6)医療被ばく線量実態調査について（東理事）

放射線管理士部会が主体となって動く。調査の実働部隊としては厚生連病院の穂山氏、今村総合病院の浅井氏、相良病院の大迫理事、鹿児島医療技術専門学校の東理事の4名で行っていく。線量計を持っている施設は各自でしてもらおうという話だったが、実際、測定マニュアルなどを作成するくらいだったら担当者が出向いて簡易の測定器で行なったほうが早そうである。対象部位は胸部、腹部、腰椎（正側面）。今年度中にまずは理事のいる施設から回っていく。最終的には30施設くらい行きたいが、今年度中に10施設くらいを目途にやっていきたい。

太田原会長より、問題になるのは放射線技師のいない施設である。そのような施設には県の技師会から依頼をしないといけないこととなる。まずは手っ取り早いところから行っていくのが妥当である。今後のスケジュールや詳細が決まったらまた報告していただきたい。

(7)災害医療について

・緊急連絡網

鹿児島支部の体制がまだできていないのでこの事案については引き続き継続する。

(8)統一講習会について（藤崎副会長）

前回（10/20, 21）の統一講習会では受講者が48名だった。次回は大隅地区にて、平成31年1月27日（日）と2月3日（日）の2週にまたいで開催される。次年度は3回、鹿児島県で開催しようと検討している。受講者がもう少し増えると良い。市は連絡、通達がある程度できているが、県の方がなかなか動いていない模様。

3. その他

(1)理事の活動報告について（岩元理事）

規定では2～3カ月に1回、会長に理事は報告することとなっている。岩元理事がフォーマットを作成するので、それを利用して各理事は活動報告を提出すること。

(2)線管理士部会研修会（原子力災害医療セミナー共催）への参加について（藤崎副会長）

平成31年1月13日（日）に線管理士部会が鹿児島大学保健学科で開催される。今回は原子力災害医療セミナーと共催で開催される。原子力災害医療ネットワークというグループがいくつかあり、保健学科の放射線看護学の松成先生がそのうち1つのグループを作っている。原子力に関するセミナーを定期的に開催しているみたいだが、今回は放射線技師にも関わる内容にしようと思っているので一緒にどうかと太田原会長に声かけをされ、放射線技師にもできるだけ参加してもらいたいとのこと。理事の方は是非参加していただきたい。

(3)レントゲン週刊イベントの報告（浮田理事）

10月21日（日）に中町のベルク広場でレントゲン週刊イベントがピンクリボン in 鹿児島と共催で開催された。参加人数は100名ちょっと。骨密度が90名、アンケートが取れたのは92名だった。内容としては骨密度測定、レントゲン博士の業績、被ばくの啓発、臨床画像ギャラリーなど、放射線技師の仕事紹介、鹿児島県放射線技師会を紹介するパネル展示、医療被ばく相談、身近な物からでる放射線の測定体験、マンモグラフィの見方のレクチャーなどを行なった。ゼリーの中身を当てる、超音波を使って遊ぼうというコーナーが子供たちの人気を集めていた。医療被ばくについては2名の方から相談があった。ピンクリボンの方で参加者がそこそこ集まってここ何年かは共催で開催しているが、もし次年度からレントゲン週刊のみでイベントをした場合、参加者が多く集まるネタがあるかというのが課題となる。

(4)市民健康まつり（渡邊理事）

市民健康まつりが9月8日（土）に鹿児島アリーナで開催された。来年度も鹿児島アリーナで開催される。例年来場者数が1000人ほどだが300～500名くらいが骨密度測定をされ、健康診断という意味合いで来られる方が多く、好評のため骨密度は来年度もして良いと考える。例年同様パネル展示と骨密度測定をメインにするとすれば、骨密度装置を借りるためには今年度中に手配した方が良い。また骨密度測定は受けたがる人が多いため待ち時間が長くなったり、通路が狭くなることが懸念される。

太田原会長より、本当に骨密度測定をしないとけないのか。例えばそれに代わるものとして血管年齢を測定したり頸部エコーなどを行うのも良いかもしれない。

(5)会計・会務状況（奥西理事）

12月のあたまくらいに中間監査をする予定。去年度から今年度にかけて謝金のやり方を変えている。研究会の数も去年度と微妙に異なることもあり、去年度と比べると今年度は10万ほど多く謝金が出ているが、予算的には今年度は問題ない。来年度以降はテレビ会議の費用や事務所のリフォームまたは引っ越しを検討するための費用がかさんでくる。テレビ会議の費用については年間36万ほどかかるので、これについては例えば見ている人たちから別途500円とか徴収するのも良いかもしれない。

(6)夜間急病センターの勤務、理事について（渡邊理事）

夜間急病センターの勤務者の更新条件について8つの条件のうち、「夜間業務に支障のない健康体で満65歳以下であること」というのがある。現在急病センターで勤務する方の年齢のリストを見てみると60代が2名、50代が6名である。したがって、勤務者の30%以上がこの10年でこの条件からはずれてしまうことになる。現状での問題は、急病センターで働ける年齢をどうする方向に持っていくか。実際60代の方は貢献度が高く、経験も豊富なため相談にも乗っていただきやすい。一方、若手はバイト感覚でやっている人が多く、やや協力的でないように見受けられる。また若手はインシデント等が起きた時の迅速かつ的確な対応がベテランのシニア世代の方々に比べて劣るところがある。60代の2名の方の意見を聞いたところ、働けるなら65歳以降も働きたいが、退くべきかとも考えている。とりあえず原則65歳までとしておき、上限は決めておく（例えば70歳まで）と良いのではないか。また、急病センター実務者における理事について、渡邊理事がいずれ退いた場合、後任者を急病センターの実務のある方にするのはどうか。これについてはまずは実務経験のある方をすぐ理事にするというよりはペアを作り一緒に活動して覚えていただく。単独にはせずどちらかが抜けてもどちらかでカバーできるような体制を作るのが良いと考える。

上記全ての議案に対し、賛成多数で承認された。

他に検討事項はなく平成30年度第1回常務理事会が終了となった。

開会：太田原会長より全ての議事が終了し、平成30年度第

1回常務理事会の閉会が宣言された。

以上

理事・監事

役職名	氏名	勤務先施設名	勤務先電話番号
会長	太田原 美郎	鹿児島市立病院	099-230-7000
副会長/学術理事	藤崎 拓郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
副会長/表彰理事	野中 康博	医療法人菊野会 菊野病院	0993-56-1135
学術理事	藤崎 誠	鹿児島共済会 南風病院	099-226-9111
学術理事	浮田 啓一郎	公益財団法人昭和会 今給黎総合病院	099-226-2211
学術理事	松野下 直美	徳久整形外科	0993-53-4311
学術理事	東 幸浩	鹿児島医療技術専門学校	099-261-6161
財務理事	奥西 達也	鹿児島市立病院	099-230-7000
福利厚生理事	西 憲文	JA鹿児島厚生連病院	099-252-2228
編集・広報理事	吉村 洋一	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
組織理事	伊藤 大助	社会医療法人緑泉会 米盛病院	099-230-0100
総務理事	渡邊 義治	清泉クリニック整形外科	099-223-1936
総務理事	岩元 博史	鹿児島市立病院	099-230-7000
総務理事	宇治野 喜宣	国立病院機構 鹿児島医療センター	099-223-1151
総務理事	佐々木 雅史	鹿児島大学病院	099-275-5664
鹿児島地域理事	大迫 俊一	社会医療法人 博愛会 相良病院	099-224-1800
北薩地域理事	岡野 三男	医療法人杏林会 丸田病院	0996-32-2263
南薩地域理事	野中 康博	医療法人菊野会 菊野病院	0993-56-1135
霧島・姶良地域理事	坂口 右己	霧島市立医師会医療センター	0995-42-1171
大隅地域理事	島尻 未治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5211
大島地域理事	中山 龍一	鹿児島県立大島病院	0997-52-3611
監事	池田 睦	医療法人 南和会 白坂病院	099-255-3161
監事	宮寄 信		

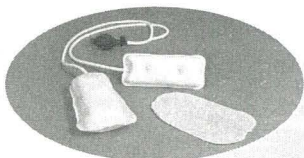
広告掲載一覧（順不同）

会社名	郵便番号	住所
東洋メディック株式会社 福岡支店	812-0007	福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40 コロナ福岡ビル4F
バイエル薬品株式会社	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル2F
株式会社 八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目29-5
シーメンス・ジャパン 南九州 営業所/サービスオフィス	892-0823	鹿児島市住吉町12-11 鹿児島共同倉庫本社ビル1F
GEヘルスケアジャパン株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC鴨池ビル3F
フィリップスエレクトロニクスジャパン 鹿児島営業所	890-0065	鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC鴨池ビル7F
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 (芙蓉ビル3F)
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル3F
株式会社千代田テクノル 福岡営業所	812-0037	福岡市博多区祇園町1番27号
富士フィルム富山化学株式会社 鹿児島営業所	890-0073	鹿児島市宇宿1-13-10

pearltec

MRI/CT用患者ポジショニングシステム

Pearltecの患者ポジショニングシステムは、MRIやCTの画像検査時に患者のポジショニングをサポート。衛生面、患者の快適性、そして使いやすさを考慮したシンプルなパッドにより、撮影中の患者位置を適切に保持しながら、画質に影響を与えるモーションアーチファクトを抑え、再検査の回数削減に貢献します。



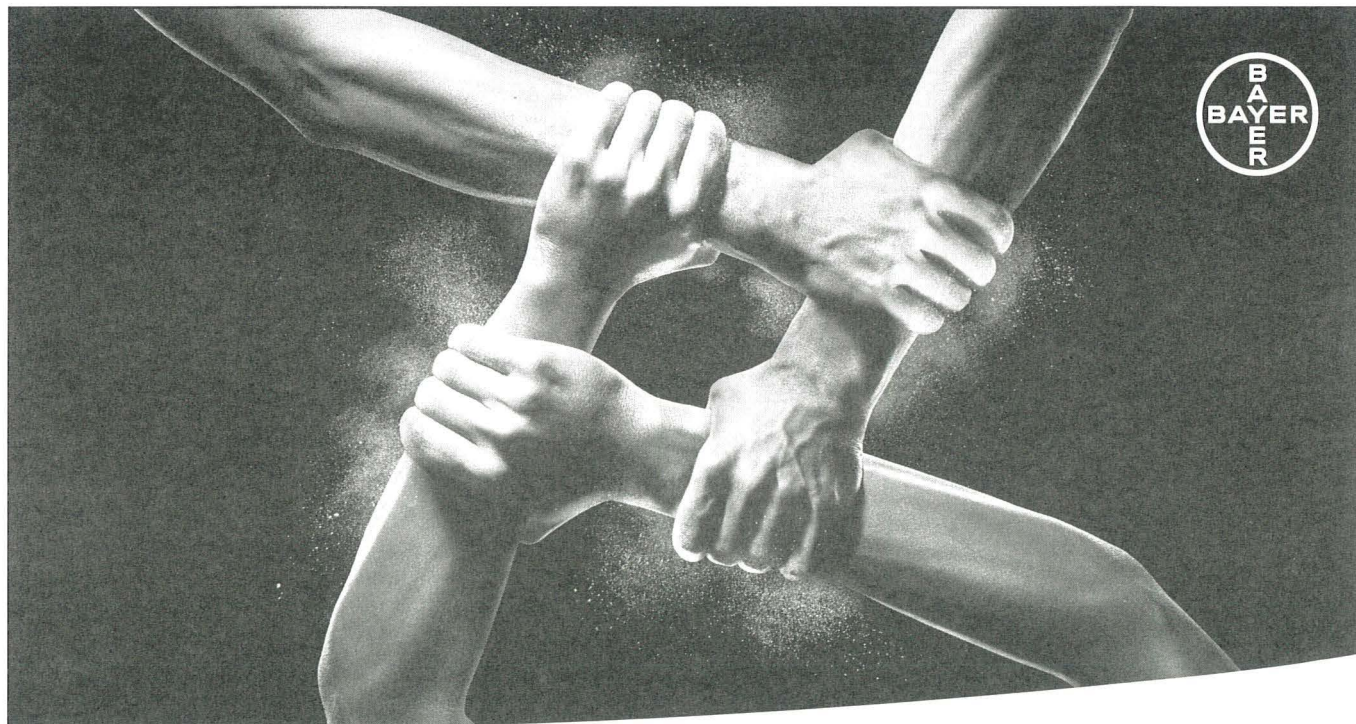
For All Your Tomorrows

TOYO MEDIC

<http://www.toyo-medico.co.jp/> E-mail info@toyo-medico.co.jp

東洋メディック株式会社

本社：〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-13
TEL.(03) 3268-0021 (代表) FAX (03) 3268-0264
大阪支店：〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-25-7
TEL.(06) 6441-5741 (代表) FAX (06) 6441-5745
福岡支店：〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40
TEL.(092) 482-2022 (代表) FAX (092) 482-2027
支店・営業所：名古屋・札幌・新潟・仙台・岡山



資料請求先

バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://byl.bayer.co.jp/>

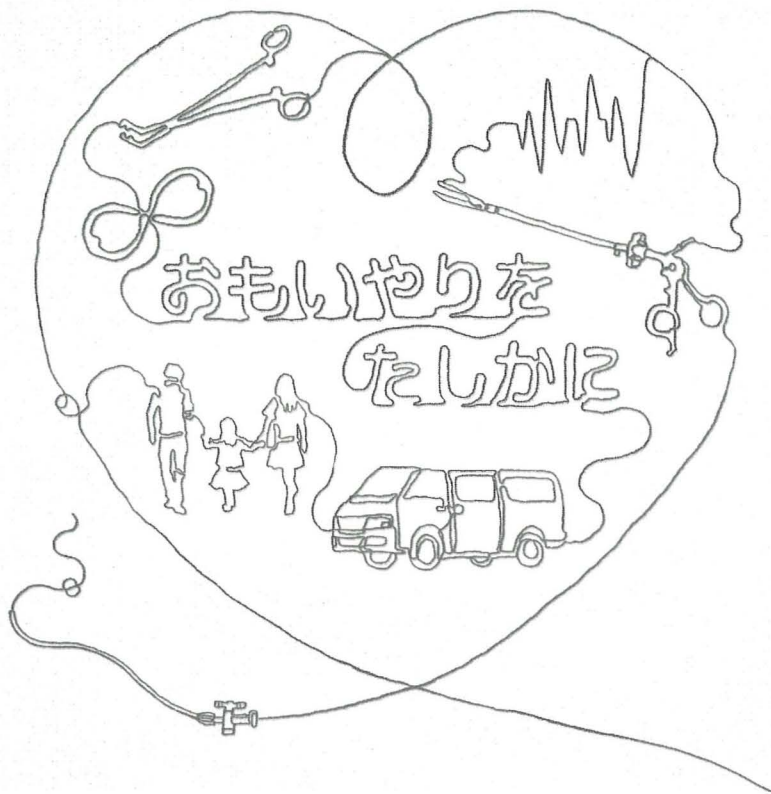
環状型非イオン性MRI用造影剤〈ガドプロール注射液〉

ガドビスト[®] 静注1.0mol/L 2mL シリンジ5mL/7.5mL/10mL

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意につきましては製品添付文書をご参照ください。



医療用品

医療機器

光学機器

理化学機器

衛生用品

検査試薬

機器



HACHIGOU
MEDICAL
INSTRUMENT

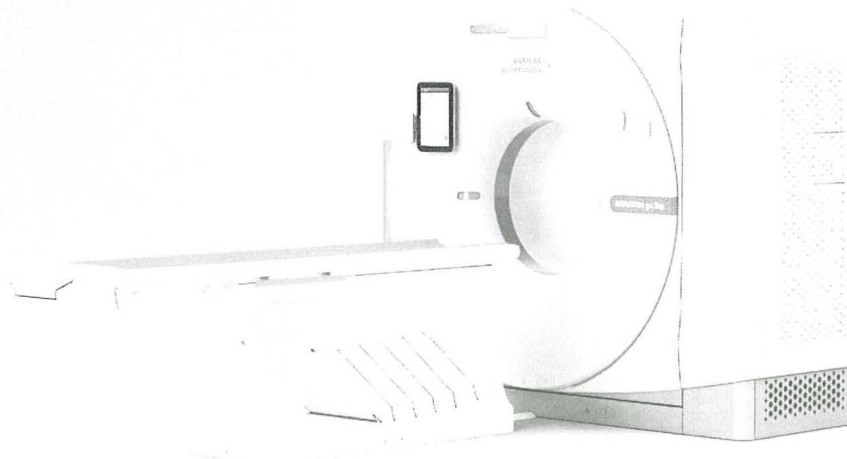
株式会社
八郷医療器

おもいやりをたしかに

鹿児島市小松原一丁目二十九番五号

TEL.(099)-268-0010

FAX.(099)-267-7790



X線CT装置

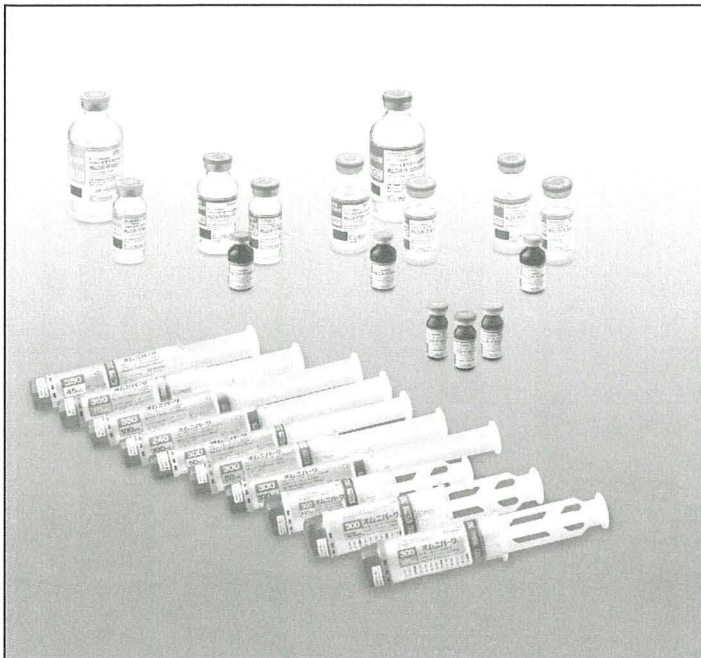
SOMATOM go.Top

Lead to the top expanding clinical demand

www.healthcare.siemens.co.jp

SIEMENS
Healthineers

全身用X線CT診断装置 ソマトム go Top/All 登録番号:230AABZX00028000



日本薬局方 イオヘキソール注射液(バイエル製剤)
 オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)
 オムニパーク240注20mL・50mL・100mL(尿路・血管用)
 オムニパーク300注20mL・50mL・100mL(尿路・血管用)
 オムニパーク300注150mL(血管用)
 オムニパーク350注20mL・50mL(尿路・血管用)
 オムニパーク350注100mL(血管用)
 オムニパーク180注10mL(脳槽・脊髄用)
 オムニパーク240注10mL(脳槽・脊髄用)
 オムニパーク300注10mL(脊髄用)

日本薬局方 イオヘキソール注射液
 オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)
 オムニパーク350注シリンジ45mL・70mL・100mL(血管・CT用)

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

非イオン性造影剤

処方箋医薬品[※]

薬価基準収載



オムニパーク[®]
OMNIPAQUE[®]

※注意—医師等の処方箋により使用すること



Daiichi-Sankyo

製造販売元(資料請求先)

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

2018年1月作成

FUJIFILM
 Value from Innovation



処方箋医薬品[※]

薬価基準収載

非イオン性尿路・血管造影剤
イオプロミド注「FRI」

イオプロミド300注「FRI」 20mL・50mL・100mL

イオプロミド370注「FRI」 20mL・50mL・100mL

イオプロミド300注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL

イオプロミド370注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL

Iopromide Injection FRI・Iopromide Injection Syringe FRI
 イオプロミド注射液 [※]注意—医師等の処方箋により使用すること

●「警告」、「禁忌」、「原則禁忌」、「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元

富士フイルム 富山化学株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビル TEL03(5250)2620
 ホームページ：<http://ftc.fujifilm.co.jp>

輸入先



バイエル社
 (ドイツ連邦共和国)

2018年10月作成

放射性医薬品・局所脳血流診断薬 **薬価基準収載**

処方箋医薬品^(注) **パービューザミン[®]注**

放射性医薬品基準塩酸N-イソプロピル-4-ヨードアンフェタミン^(123I)注射液

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

放射性医薬品・脳疾患診断薬 **薬価基準収載**

処方箋医薬品^(注) **ダットスキャン[®]静注**

放射性医薬品基準イオフルパン^(123I)注射液

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。 ®:登録商標

資料請求先 **日本メジフィジックス株式会社** 〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 <http://www.nmp.co.jp>

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトでSPECT検査について紹介しています。

製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941 2015年3月作成

眼を護る、礎となる。

ヘッドバンド

端部

検出部

素子

■ DOSIRISの3大特長

軽量 12g (単4電池と同等)

防護眼鏡の内側に装着可能

3mm線量当量を測定

■ DOSIRIS着用例 (防護眼鏡PT-99AL使用時)

関節式アームを採用

① 装着後位置の微調整が可能

② 端部のみでの使用も可能

使用しているTLD素子は⁷LiF:Mg,Ti

③ カプセル内に組み込まれています。

目の水晶体用線量計

DOSIRIS[®]

ドジリス

株式会社 千代田テクノル

〒113-8681 東京都文京区湯島 1-7-12 千代田御茶の水ビル

E-mail: ctc-master@c-technol.co.jp

URL: <http://www.c-technol.co.jp>

